

【お知らせします】

小諸市立中学校

における

部活動の地域展開

問 学校教育課 学校教育係



少子化による生徒数の減少や学校の働き方改革などを背景として、国では学校部活動を地域クラブ活動へと段階的に移行・展開していく方針が示されています。また、これを踏まえ、長野県でも令和8年度末までに休日の部活動の地域展開を完了することを目標として、取り組みが進められています。

小諸市でも、生徒にとって大きな関心事である部活動を、今後も持続可能な形で継続させ、さらに発展させていくため、環境づくりについて丁寧に検討を重ねてきました。

このたび、中学校の教職員や地域のスポーツ・文化芸術団体の関係者の方々との協議、並びに小諸市部活動地域展開推進協議会での議論を経て、今後の活動体制を下記のとおりとしました。

今後の部活動の活動体制

休日の部活動

地域のクラブへ移行（運動部はR9/8月、文化部はR9/11月以降、3年生の主たる大会等終了後）

平日の部活動

学校における活動を継続（地域展開に向けた取り組みを段階的に推進）

生徒及び保護者の皆様には、ご家庭での話し合いや友人との相談などを通して、それぞれの思いに寄り添った活動となるよう考え合うなど、主体的に取り組んでいただければ幸いです。

【国・県のスケジュール】

		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13
		改革推進期間			改革実行期間（前期）			改革実行期間（後期）		
国	休日	実証事業			原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す					
	平日	できるところから鋭意進める			課題対応実証事業（10/10）想定			更なる改革推進期間		
		中間評価（改めて方針を策定）								
本県	休日	地域展開完了目途			県内の進捗状況を踏まえて 令和8年度中に方向性を示す					
	平日	できるところから鋭意進める								

【小諸市のスケジュール】

休日	運動部	令和9年の夏の中体連大会終了後に休日部活動は終了し、地域展開へ移行
	文化部	令和9年の文化祭等主たる大会等の終了後に休日部活動は終了し、地域展開へ移行
平日	休日部活動の地域展開の状況や国、県の状況も見ながら方向性を決定する受け皿があるところから地域展開を進める	

【地域展開すると何が変わるの？】

ポイント	これまで（学校部活動）	これから（地域クラブ等）
①指導者	【学校教員・外部指導者】 ▶経験者ではない教員が活動を担うこともありました。	【地域の指導者等】 ▶専門的な知識を持った、経験豊富な人が指導してくれます。
②活動する仲間	【学校の友だち】 ▶学校の生徒だけでは人数が少なく、チームが組めないこともありました。	【他学校も含めた地域の仲間】 ▶学校関係なく地域にいる仲間が、チームメンバーになります。
③活動場所	▶自分の通う中学校	【学校施設や地域の公共施設】 ▶種目に適した施設（総合体育館等）
④費用負担	▶部費（実費）	▶会費（指導者への謝金、保険料等）